

# 強い農業づくり交付金事業 について

実施年度	市町名	対象品目	事業内容	ページ番号
平成 24 年度	三豊市	柑橘	集出荷貯蔵施設整備	2
平成 26 年度	善通寺市	キウイフルーツ	集出荷貯蔵施設整備	3
平成 27 年度	三豊市	落葉果樹	集出荷貯蔵施設整備	4
平成 27 年度	坂出市	レタス、ブロッコリー	集出荷貯蔵施設整備	5
平成 28 年度	三豊市	米麦	産地管理施設整備	6

# 強い農業づくり交付金

平成29年度予算概算決定額： 20,174(20,785)百万円

国産農畜産物の安定供給のため、生産から流通までの強い農業づくりに必要な共同利用施設等の整備等を支援。

## 補助対象：

- ① 共同利用施設等整備  
乾燥調製施設、集出荷貯蔵施設、農産物処理加工施設、生産技術高度化施設、家畜市場、畜産物処理加工施設、小規模土地基盤整備、飼料作物作付条件整備 等
- ② 卸売市場施設整備  
売場施設、貯蔵・保管施設、駐車施設、搬送施設、衛生施設、情報処理施設 等

## 交付率：

都道府県へは定額（事業実施主体へは事業費の1/2以内等）

## 事業実施主体：

都道府県、市町村、農業者の組織する団体等

## 交付先：

国 ⇒ 都道府県

## 事業の流れ



## 支援メニュー

- 1 産地収益力の強化  
各品目の生産性向上等の取組に必要な共同利用施設等の整備を支援
- 2 産地合理化の促進  
産地の集出荷、処理加工体制の合理化に必要な共同利用施設等の再編等を支援
- 3 気象災害等リスクの軽減  
気象災害等産地を弱体化させるリスクの軽減に必要な共同利用施設等（被害防止施設等）の整備を支援
- 4 食品流通の合理化  
安全で効率的な市場流通システムの確立に必要な卸売市場施設の整備を支援

## 優先控の設定

「攻めの農業」の実現に向け、次の取組を積極的に支援します。

- ① 集出荷・加工の効率化に向けた再編合理化【20億円】  
高収益な産地体制への転換を図るために、集出荷・処理加工施設等の再編合理化
- ② 次世代施設園芸の地域展開【20億円】  
オランダも参考に高い生産性を実現する大規模な高度環境制御栽培施設等の整備
- ③ 中山間地域の競争力強化【30億円】  
都道府県が作成する中山間地域の地域別振興計画に基づき行う取組に必要となる共同利用施設等の整備
- ④ 水田における高収益型農業への転換【10億円】  
水稲から園芸作物に転換するための集出荷施設等の整備

## 平成25年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
三豊市(観音寺市・善通寺市)	三豊・観音寺・善通寺地区	香川県農業協同組合	平成25年度 (平成24年度繰越)

### 事業計画の概要

#### (課題)

三豊みかん共同撰果場は、柑橘の主産地である善通寺市、三豊市並びに観音寺市から広域集荷して、JA香川県の約5割を共同選果している。

柑橘は、平成11年度に設置した非破壊式選果機は、設置後13年を経過し、高品質果実の選果精度が低下するなど実需者ニーズへの対応が遅れている。

特に、温暖化で問題となっている生傷による品質劣化は、現在の選果機や目視では判別できないため、消費地到着後に腐敗ロスが発生し、契約取引を行う際の支障となっている。

また、各生産者ごとに生産履歴を整備しているが、出荷容器に識別表示しておらず、実需者までトレーサビリティが構築できていない。

これらにより、ブランド化の向上や契約取引の拡大が困難な状況となっている。

#### (事業内容)

以下のとおり、選果機の機能強化を行い、果実品質を安定させることで、消費者（実需者）ニーズに対応した高品質果実を「ふる一つ物語」等としてブランド化を進めるとともに、県内外の実需者との契約取引を増やし、産地の更なる発展を目指す。

- ・生傷を検出できる非破壊式選果機に機能強化することで、果皮の生傷を可視化及び糖度や酸度の測定精度が向上し、安定した品質の果実が出荷できるようになる。

- ・生産者、品種など生産者情報や選果日時を出荷容器にバーコードとして表示することで、産地から実需者に至るまでのトレーサビリティシステムを構築する。

### 施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
柑橘 集出荷貯蔵施設	535	870	203,362,358	96,839,000	集出荷貯蔵施設 ・非破壊式選果機 9条 ・トレーサビリティシステム 1式

### 期待される効果の概要

項目	24年度 (現状値)	26年度 (実績値)	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	概要
ブランド産品の出荷割合の増加	2.3%	8.6%	6.9%	17.4%	11.4%	ブランド産品の出荷割合を9.1%増加
契約出荷割合の増加	22.1%	34.0%	50.8%	52.3%	37.1%	契約出荷の割合を15.0%増加

○袋掛け栽培やマルチ栽培の推進と選果能力の強化により、ブランド産品の出荷割合が増加した。さらに、トレーサビリティシステムの活用による市場評価の向上は、契約出荷の割合を増加させ、農家所得の向上に寄与した。

## 平成26年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
善通寺市 (高松市)	善通寺・ 高松地区	農業生産法人 株式会社キウイベリージャパン	平成26年度

### 事業計画の概要

#### (課題)

キウイフルーツのうち、県オリジナル品種は、一般に流通する「ヘイワード」に比べて食味が良好であるため、百貨店や果実専門店など実需者の評価が高く市場等から増産を要請されている。

しかし、キウイフルーツ栽培における調整出荷及び貯蔵作業は、全労働時間の約2割を占めるほか、整枝・せん定時期と重複するため、規模拡大する上での課題となっている。

さらに、生産者毎の調整・出荷及び貯蔵作業は、果実品質が不揃いとなり、県オリジナル品種のブランド化を図るうえでの課題となっている。

こうした中、大規模専業経営を志向する農業生産法人等が「株式会社キウイベリージャパン」を平成25年9月に設立し、「さぬきキウいっこ」など香川県オリジナル品種を中心として、栽培技術の統一による品質向上と安定生産、集出荷の一元化による有利販売や生産拡大に取り組むこととなった。

#### (事業内容)

株式会社キウイベリージャパンが、構成員である農業生産法人及び農家が生産したキウイフルーツを、一元出荷したうえで、共同選果、低温貯蔵、追熟処理並びに一元出荷するため、キウイフルーツの集出荷貯蔵施設(選果場、選果機、予冷库並びに付帯施設)を整備し、キウイ産地の発展を目指す。

- ・集出荷貯蔵施設の整備により、選果・貯蔵・追熟並びに出荷作業を省力化することで、オリジナル品種の生産規模を拡大する。

- ・県オリジナル品種のうち、高品質果実を香川県の果実ブランド認証制度を活用し「さぬき讚フルーツ」として出荷し、ブランド化を推進する。

### 施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
キウイフルーツ 集出荷貯蔵施設	10.36	10	64,039,680	29,648,000	選果場建屋 選果機 2条 予冷库 1基 付帯施設

### 期待される効果の概要

項目	25年度 (現状値)	26年度 (実績値)	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	28年度 (目標値)	概要
ブランド品の出 荷割合の増加	81.3%	83.1%	91.6%	94.9%	91.3%	ブランド品出荷割合 を10%増加
振興品種の栽培 面積割合の増加	92.4%	93.5%	97.6%	98.9%	98.5%	振興品種の栽培面積 割合を6.1%増加

○選果、貯蔵作業の効率化による果実品質の斉一化により、ブランド品の出荷割合が増加した。さらに、さぬきキウいっこ®等の市場評価が高い振興品種の栽培面積の増加により、農家所得の向上が図られた。

## 平成27年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）計画の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
三豊市	三豊地区	香川県農業協同組合	平成27年度

### 事業計画の概要

#### （課題）

高瀬地区は、丘陵地を中心に「もも」「ぶどう」「かき」並びに「キウイフルーツ」等の落葉果樹産地を形成している。

これら落葉果樹は、高瀬及び香川麻撰果場で集荷・共同選果を行い、卸売会社との契約取引や高品質果実を「さぬき讚フルーツ」としてブランド化を図るなど、有利販売に取り組んでいる。

しかし、両選果場の非破壊式選果機のうち、内部品質を測定する「近赤外線測定装置」は果皮付近の糖度しか計測できない「反射型」であることや外観品質を測定する「カラーグレーダー」を設置していないため、総合的な果実品質の評価ができず、高品質を求める消費ニーズへの対応が遅れている。

また、優良品種への新・改植により、生産量の増大が見込まれる中、両選果場の老朽化と予冷庫などの鮮度保持施設の不備は大きな課題となっている。

#### （計画内容）

非破壊選果機の機能強化により、出荷品の品質を斉一化し、消費ニーズに対応した高品質果実のブランド化を進めるとともに、選果場の再編・統合及び鮮度保持施設の整備を行い、県内外の実需者との契約取引を拡大させ、生産者の経営安定を図る。

具体的には以下のとおりである。

①高瀬地区における「もも等」の集荷及び選果を「高瀬選果場」に再編・統合するとともに、集荷から出荷に至るまでの鮮度保持のため、「定温保管施設」及び「予冷庫」を整備する。

②既存の非破壊選果機の「近赤外線測定装置」を果実内部の把握が可能な「透過式」に機能強化するとともに、外観品質を測定する「カラーグレーダー」を新たに整備し、総合的な果実品質の評価により、有利販売を行う。

③また、非破壊選果機の機能強化により、「さぬき讚フルーツ」の出荷対応を推進し、「JA高瀬支店もも部会」を新たな制度認証団体に追加することで、ブランド品の作付割合を拡大する。

④なお、選果データは、生産者への指導に活用し、品質向上に向けた助言を行うとともに、優良品種の新・改植を促す

### 施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
落葉果樹 集出荷貯蔵施設	83	347	151,200,000	59,135,000	集出荷貯蔵施設 ・非破壊選果機 一式 ・予冷庫 1基 ・低温保管施設 192㎡

### 期待される効果の概要

項目	25年度 (現状値)	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	概要
ブランド製品の作付割合の増加	53.8%	51.2%	69.2%	75.3%	ブランド製品の出荷割合を21.5%増加
契約出荷割合の増加	35.7%	29.2%	47.9%	51.5%	契約出荷の割合を15.8%増加

○選果機の機能強化と鮮度保持施設の整備による有利販売によって、ブランド製品の作付割合は順調に増加している。また、果実品質の斉一化等による市場評価の向上で、契約出荷の割合も増加している。

## 平成27年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
坂出市	坂出中央 地区	香川県農業協同組合	平成27年度

### 事業計画の概要

#### （課題）

坂出中央地区では、近年、水田裏作として、レタスやブロッコリーの作付けが急速に拡大している。しかし、レタスは急速な生産拡大により、出荷のピーク時には既存の集出荷場の処理能力を上回るため、新規の作付け制限とピーク時の荷受量の制限があり、穫り遅れレタスの圃場廃棄が発生している。また、ブロッコリーは専用の集出荷場がないため、他作物の集出荷と重なり大変混雑するうえ、ピーク時には鮮度を保つための氷や予冷スペースが不足して、品質の低下が問題になっていた。

#### （計画内容）

##### （レタス）

集出荷場を新たに整備し、出荷調製ラインを3ラインから7ラインに拡充した。

これにより、荷受量の制限がなくなり、ピーク時の穫り遅れを防いで単収の増加と担い手によるレタスの作付拡大が図られる。

##### （ブロッコリー）

これまでレタスで使用していた施設をブロッコリーの荷受場として活用し、予冷库や製氷機を導入した。

これにより、生産者の荷受け時間のロスを収穫作業に充てることができ、適期収穫が実施されるとともに、ピーク時の氷や予冷スペースの確保により、鮮度を保ったまま出荷調整が実施できるため、品質の向上が図られる。

### 施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
野菜 集出荷貯蔵施設	(レタス) 75 (ブロッコリー) 180	(レタス) 15 (ブロッコリー) 80	200,880,000	93,000,000	集出荷施設 1,357.63 m <sup>2</sup> 調製包装施設 一式 予冷施設 144 m <sup>2</sup> 製氷機 1基 (2トン)

### 期待される効果の概要

項目	25年度 (現状値)	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (目標値)	概要
(レタス) 10a当たりの販売額	577,610 円/10a	509,314 円/10a	477,563 円/10a	669,840 円/10a	販売額の増加割合を 16.0%増加
(ブロッコリー) 秀品L階級の割合	62.7%	66.9%	63.5%	78.3%	秀品L階級の割合を15.6 ポイント増加

平成28年度強い農業づくり交付金（産地競争力の強化）実績の概要

市町名	地区名	事業主体	事業実施期間
三豊市	山本・豊中・ 財田地区	香川県農業協同組合	平成28年度

事業計画の概要

（課題）

三豊市では、従来から良食味米産地として水稻の栽培を行っているが、近年の生育期間中の高温傾向により、主力品種である「ヒノヒカリ」で白未熟粒が多発し、品質低下が問題となっている。また、山間部ではカメムシの多発に起因する斑点米による落等も見られており、病虫害防除の指導を行っているものの、近年は被害の大きい年が増加傾向にある。

さらに麦についても、コンバイン収穫による異種穀粒や異物（ガラス、プラスチック片）混入が多く見受けられ、異物等の除去が急務となっている。

（計画内容）

宝山・豊中カントリーエレベーターに色彩選別機を整備し、白未熟粒や斑点米の除去による米の品質向上や異物等の除去による麦の高品質化を図る。

施設整備計画

整備内容	受益面積 (ha)	受益戸数 (戸)	事業費 (円)	交付金 (円)	事業の内容
産地管理施設の 整備 (分析診断施設)	(米) 803ha (麦) 85ha	1,861戸	29,484,000	12,967,000	色彩選別機一式 (処理量 4,200kg/hr)

期待される効果の概要

項目	26年度 (現状値)	28年度 (実績値)	29年度 (実績値)	30年度 (目標値)	概要
(稲) 1等比率の増加	0.7%	0.7%	—	17.5%	1等比率を16.8ポイント増加
(麦) 1等比率の増加	82.0%	100%	—	97.0%	1等比率を15.0ポイント増加

○平成29年2月に設備導入が完了したため、29年度から本格的に稼働する予定。

